

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)	
親子健康手帳交付	7日(木) 9:45集合	妊婦	
	27日(水) 13:30集合		
パパママ教室(1回目)	7日(木) 10:30受付~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫	
予 パパママ教室(2回目) ※予約は土日のみ	9日(土) 9:15受付~11:30終了 24日(日)	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫	
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)	
こんにちは 赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者 (里帰り出産で市内滞在中の人も対象となります)	
転入者予防接種等 説明会	21日(木) 10:00集合	主に7歳未満の子がいる転入世帯 (健康推進課窓口等で転入手続きした人を除く。)	
予 離乳食教室	15日(金) 10:00~11:30	主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)	
予 妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください。	妊婦と産後1年未満の産婦	
BCG接種	12日(火) 9:15~10:15受付	H29年12月16日~H29年12月31日生	
	29日(金)	H30年1月1日~H30年1月15日生	
予 B型肝炎 予 ヒブ、小児用肺炎球菌 予 4種混合、不活化単独ポリオ 予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独 予 水痘 予 日本脳炎 予 二種混合 予 子宮頸がんワクチン	対 生後1歳未満	対 生後2~60月に至るまで	
	対 生後3~90月未満	対 第1期:生後12~24月未満 第2期:小学校入学前の1年間	
	対 生後12~36月未満	対 1期:生後6~90月未満、2期:9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
	対 小学6年生	対 小学6年生~高校1年生の女子	
	厚生労働省の勧告を受け、 積極的な接種の勧奨を一時的に差し控えています。		
予 集団特定健康診査 がん検診(胸部・胃・大腸・前立腺)	1日(金) 26日(火)	市国民健康保険加入者で40~74歳の人 (検診によって対象制限あり)	
	予 集団がん検診 (胸部・胃・大腸・前立腺)	13日(水) 14日(木) 27日(水)	市国民健康保険加入者以外で40~74歳の人 (検診によって対象制限あり)
	予 個別特定健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください	市国民健康保険加入者で40~74歳の人 後期高齢者医療制度加入者 (H31年3月31日までに75歳になる人を含む)
	予 後期高齢者医療健康診査	※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	40歳以上の人(検診によって対象制限あり)
	予 個別がん検診※(胸部・胃・大腸・前立腺)	体成分分析装置測定会	随時(日時要相談) 市内在住の人
予 子育て相談	11日(月) 28日(木)	希望者は保健センターに 連絡してください	
	予 こころの相談室	随時	保健センター 問 健康推進課 ☎63-3300
	予 こころの健康相談	15日(金) 14:00~16:00	瀬戸旭医師会館相談室 問 瀬戸地域産業保健センター ☎84-1139

納期限(7月2日)までに納めてください

税目	納期	問合先
市・県民税	全期・第1期	収納課 ☎56-0610
介護保険料	第2期	長寿課 ☎56-0613

口座振替の人は、納期限の日に引落しますので残高を確認してください。納付は便利な口座振替を利用してください。※パソコン、スマートフォンからクレジットカード納付もできます。

休日夜間診療案内

東名古屋医師会休日急病診療所 ☎73-7555 (記事ID 1197) HPを見る

診療時間	9:00~16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22 (中央福祉センター内)

夜間の急病・ケガは下記に問い合わせを救急医療情報センター ☎82-1133

愛知医科大学病院 時間外診療
救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。☎62-3311(代表)
なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費(5,400円)が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学へお問い合わせください。

まちの保健師 HPを見る (記事ID 10608)

保健師が様々な場所に出向き、健康相談をお受けします。気軽にご相談ください。詳しくは市ホームページにてご確認ください。



ドクターからあなたへ ご存知ですか?「オーラルフレイル」

東名古屋長久手市医師会

「フレイル」とは、英語で「虚弱」を意味する単語が語源です。年をとると、心身の活力が衰え、弱々しくなった状態です。フレイルは肉体的な衰退に限らず、「人の集団に入るのは嫌だ」という心理面や経済的困窮、摂食能力の低下等も含まれた概念です。

従って、フレイル予防には、運動と栄養、社会参加を三位一体で継続していくことが重要です。

さて、年をとると、栄養面の衰えが始まります。口の周りのさまざまな機能の衰えが体全体の衰えにつながる「オーラルフレイル」という新しい概念が提唱されています。

この診断には、以下の6項目のうち、3つ以上あれば疑われます。
①残っている歯が20本未満②かむ力が弱くなった③舌の力が弱くなった④滑舌(話すときの滑らかさ)が悪くなった⑤硬い食べ物が食べづらい⑥むせることが増えた…。また、かめない→軟らかいものを食べる→口腔機能低下→低栄養状態という負のスパイラルが発生します。さらには、経管栄養(経鼻・胃ろう)の選択を迫られるケースが増え続けています。嚥下機能の低下は様々な疾患からも発生しますが、少なくとも老化に伴う機能低下に対して、

私達は日々の生活の中で工夫が必要になっています。

第23回「長久手市の在宅ケアに関するシンポジウム」では、「最期まで口から食べるために」という視点から、専門職の2名をゲストとしてお迎えします。

第一部基調講演(その1):愛知医科大学病院 言語聴覚士 上野真也子氏から「いつまでも食べて元気に」と題して講演いただきます。さらに、同(その2):日本歯科衛生士会 摂食嚥下リハビリテーション分野認定歯科衛生士 森島 暢子氏から「食べる」を支えるやさしい口腔ケア」と題して講演いただきます。また、第2部「会場の皆様とご一緒に」では、ご参加いただきました皆さんと質疑応答を致します。介護されている方、介護している方、老若男女を問わず、この機会をお見逃しなく、奮ってのご参加をお待ちしております。

時 6月16日(土) 13:30開場 14:00開演
場 文化の家 風のホール 他 予約不要・参加費無料
問 東名古屋医師会事務所 ☎0561-73-8730